

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 8 年 3 月 31 日

事業所名 ほっぷ・すてつぷ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		個別訓練を3つのグループに分け、グループに合わせてスペースを確認しています	
	2 職員の配置数は適切である	6			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	トイレ誘導のタイミング等を少しでもずらし調整しています。 個に応じた個別スケジュール（カード）が使用されています。	利用人数に対してトイレの数が少ない為、混雑する事があります。 個室がない為、着替えや切り替えの時に困ることがあります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		訓練の場所に照明が足りていないです。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			月に1回、児童支援計画書の立案や月の予定の立案を職員全員で検討する機会を設けています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		要望に合わせて個別に面談を行いました。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			今回もホームページにて公表します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現在、第三者評価は実施していません。	他の事業所や関係機関と連携を取り、定期的に評価してもらおう機会を設けています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		保護者からのニーズと本人の特性や実態を聞き取り児童発達支援計画を立てています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		標準化されたものがあるかどうか周知していません。あれば使用していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		保護者のニーズに合わせ、児童発達支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		サービス提供記録の中に計画や評価の記入枠を設ける事で、支援者が共通理解をして支援にあたっています。	
14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		月に1回会議を行い、行事を考えた子供の様子を共有しています。		

へ 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		利用児童の年齢に合わせ、一定の間隔において活動内容を変更しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		送迎前にその日の支援内容や役割を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	送迎前に前日の振り返りや気付いた点を共有しています。	支援が終了する時間は、パートタイム職員が退勤する為、毎日の振り返りに参加できていません。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		最長6カ月の範囲で必要に応じて、モニタリングを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者や児童指導員等が参加し、子供の状況や課題を伝えています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		通園している保育園と連携をとっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			移行支援会議に参加し情報共有に努めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			移行支援会議に参加し情報共有に努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	保育園を通園されているので、交流会は行っています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	法人内から協議会へ参加している職員がいる為、情報共有を行っています。	協議会等へ参加できるような人員配置が難しいです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		様子が気になる児童の保護者には、利用後、電話連絡を行い情報共有に努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2		ペアレントトレーニングを行える職員がいない為、難しいです。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に丁寧に説明を行うようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		要望に応じて行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		サービス提供記録に日々の様子を記載しています。また必要に応じてメールで情報伝達を行っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		今年度の秋に開催しました 今後も開催を考えていきます	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年2回計画を立て、利用児全員が避難訓練に参加できるよう日程調整を行っています	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		予防接種状況を確認しています	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		医師の指示書はないが、保護者様に聞き取りを行い対応しています	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		危険行為等があった場合は職員間や法人全体で共有しています	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止研修を行っています	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	該当する児童がない為、児童支援計画には記載しているケースはありません	